

次世代地域防災リーダー育成プロジェクト！

平成28年地域政策研究センター(地域提案型・前期) 採択課題

課題名：中学生の活動を核とした「地域のつながり」再生による地域減災システムの構築
研究代表者：総合政策学部 教授 伊藤英之
課題提案者：小野寺 邦俊（岩手町立川口中学校 教諭）
研究メンバー：杉本伸一（地域政策研究センター客員教授）
技術キーワード：レジリエンス，地域学習，異世代交流，災害防除

▼研究の概要（背景・目標）

岩手町は、平日の昼夜人口の変動が著しく、平日日中は高齢者等、災害時要援護者が多く残留している。このため、平日に地震、洪水等の自然災害が発生した場合、消防・防災活動の担い手がほとんどいないことになる。従って、現中学生を災害時の「地域の防災リーダー」として育成し、合わせて中学生と地域とのつながりを防災イベントや教育を通して再生を図り、レジリエントな地域再生を試みた。さらに教員の異動に伴う防災教育の断絶を防ぐため、教材のデータベース化を図った。



図1 3Dプリンターを使ったハザードマップ学習

▼研究の内容（方法・経過）

【研究の目標】

2013年から現在までの研究成果を、中学校側へ技術移転する。

- (1)防災教育プログラムの簡素化・簡略化と授業実施による検証
- (2)画像保存とデータベース化
- (3)教育成果の地域への情報発信
- (4)既存施設の活用による防災学習の総合化



図2 ブロック玩具を用いた災害に強いまちづくりワーク

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

- 1.本研究成果を、川口中学校区(川口小学校・久保小学校)へ拡大し、小学校高学年から中学卒業までの4年間をシームレスに地域防災学習を行えるように展開を図る。
- 2.岩手県教育委員会とも連携を行い、本プログラムを全県展開可能なように検討を行う。